

## 1 戸板 進 議員（志政会）

### （1）ポイント制ペットボトル回収機設置について

- ・今年2月5日に開催された高校生議会の中で、「ポイ捨て減らそっさ計画」が提案された。通学路沿いの川や道、田んぼにごみが捨てられている光景を見ると、農家さんが一生懸命作っている畑や田んぼにごみが落ちているのが嫌で、市内にポイントが加算されるごみ箱を設置すればポイ捨てがなくなり、坂井市を自分たちの手できれいできるのではという計画である。嶺北一帯の河川が流れ込む坂井市にとって、河川漂着ごみ対策は重要課題の一つとして、県へは重点事項として要望し、議会においても北信越議長会に国の要望事項として提出しているところである。ポイント制ペットボトル回収機の設置は、河川漂着ごみ対策としては小さな取り組みかもしれないが、市民にとっては大きな意義のある取り組みだと考える。高校生の純粋な思いをどう受け止め、ポイント制ペットボトル回収機設置についての市長の所見をお聞きする。

## 2 辻 人志 議員（政友会）

### （1）機能維持が困難な行政区について

- ・世帯の減少や高齢化が進み、行政区としての機能維持が限界に達していると思われる行政区の現状および今後の動向をどのように考えているか。
- ・区の人口が減少し、今後区民館や街灯、生活道路などの地域資源の維持管理が厳しくなる行政区に対して政策的支援が必要であると考えが見解は。

### （2）カーブミラーの安全管理について

- ・市が管理するカーブミラーの数は。
- ・カーブミラーの保守点検は、いつ、どのように行っているのか。
- ・カーブミラーの耐用年数はどのくらいか。
- ・経年劣化などによって建て替えや改修が必要とされるものについて、経過観察も含め、随時対応しなければならないと考えるが、状況は。

## 3 渡辺 竜彦 議員（志政会）

### （1）コウノトリが訪れたこのまちに

- ・今回58年ぶりに、野外で生まれたコウノトリのひなが無事巣立つことができたのは、コウノトリを受け入れてくれた集落の協力が無くては成しえなかったと思う。そういった意味では、受け入れてくれた集落や協力してくれたさまざまな関係団体には感謝してもしきれないが、市長の所見を伺う。
- ・コウノトリが訪れてから、ひなが生まれ、巣立ちまでの記録を何らかの形で次世代へと伝えていきたいと考えるが所見を伺う。

### （2）本市の公共施設の電動シャッターの安全管理は

- ・本市の学校を含む公共施設に電動シャッターを使用しているのはどれくらいあるの

か。

- ・また、そのような施設がある場合、今回の繊維工場での火災による死亡事故を受け、どのような対策を講じていくのか。

(3) 坂井市の子どもが通行する道路の安全状況は

- ・本市の保育園や幼稚園に通う児童が散歩などで日常的に移動する道路に、対象となった危険箇所はなかったのか。またそのような場所があった場合、どのような対策を講じたのか。

#### 4 山田 秀樹 議員（志政会）

(1) キャッシュレスの推進について

- ・市内のキャッシュレス決済の普及率は。
- ・事業者に向けたキャッシュレス決済導入の支援方法は。
- ・市民にキャッシュレスに馴染んでもらえる方策は。

#### 5 近藤 哲行 議員（政立会）

(1) 電線を地中化に

- ・電力会社、電話会社とのタイアップで地中化を検討してみてはいかがか。
- ・国からの助成金はないのか。

(2) 空き家対策と人口減少対策の提案

- ・三国町の空き家だけで何軒あるのか。
- ・今ある空き家を再利用することを考えてみてはいかがか。
  - ①希望者に譲渡していただきリフォームできるものは転売する。今までも空き家対策はされているかとは思われるが、もっと広範囲も含めてお聞きする。例えば都会から来た人に、農業、漁業などの体験も兼ねてシェアハウスなども計画されてはいかがか。
  - ②できないものは空き地にして雪捨て場、火事の類焼を防ぐ場所や散歩などの休憩所にする。
  - ③他所からの移住者、または海外からの移住者に安く土地を提供する考え方はいかがか。市所有の負の土地は早く処分すべきだと思うが、これからは利用価値があるための譲渡で増やしていくべきだと思う。

#### 6 川畑 孝治 議員（政友会）

(1) 児童虐待対策について

- ・市の児童虐待の現状と問題点、対策は。
- ・児童虐待に対する学校、警察など、他団体との連携は。
- ・市町村の体制強化が求められているが、現状と対策は。
- ・県との連携は。
- ・スクールロイヤーの配置について。

(2) 市の産業・文化・歴史的資料の保存をすべき

- ・保存すべき各種資料についての収集・保存・展示についてどのように考えるか。

- ・市民からの各種資料の提供について、どのように対応しているのか。
- ・今後、市の資料館の既存・新設など、どのように考えているのか。

## 7 後藤 寿和 議員（志政会）

### (1) ボランティア活動に対するポイント制度

- ・坂井市の介護サポーターに登録している市民は何人か。
- ・実際に活動している市民は何人いるのか。
- ・告知の方法がわかりにくいと感じるが、告知の方法は新たに考えていないのか。
- ・他市とは違い、坂井市は定期的に高齢者の自宅に訪問して行う活動だけであるが、介護施設や、自主開催や市が実施する介護予防事業などにも拡大していき、ポイントを付与してあげることはいできないだろうか。
- ・サポーターの対象年齢は、介護予防の推進年齢から65歳以上となっているが、介護保険を納める年齢である40歳から引き下げたらどうだろうか。

### (2) 品川区と坂井市との連携協定の今後について

- ・2015年に交わした特別区全国連携プロジェクトと、今回の『品川区と坂井市との連携協定に関する協定書』の違いは。
- ・今まで行ってきた連携プロジェクトの事業の取り組みは。成果はどうだったか。
- ・今まで行ってきた事業で、今後も継続や拡充していきたい事業は。
- ・今後の連携事業の取り組みはどのようなことを考えているのか。
- ・品川区との連携で、都市圏に向けて坂井市のシティセールスはどのように考えているのか。

## 8 南川 直人 議員（志政会）

### (1) 個人市民税、法人市民税の推移と企業誘致の必要性

- ・合併して14年目を迎え、現在の市の人口、生産年齢人口は予想した人口とほぼ同じか。
- ・市の人口が減少する中、個人市民税の推移はどうか。
- ・市の人口が減少する中、市内法人数と法人市民税の推移はどうか。
- ・市の人口減少が、個人市民税や法人市民税の減少に大きく影響する人口減少数、あるいは、その年度の予想はできないか。
- ・市の人口が減少する中でも、自主財源としての法人市民税を伸ばすために、企業誘致は必要であるとする。企業誘致には投資が必要であるが、企業が来てくれた場合何年ぐらいで投資額を回収できるか。
- ・企業は有利な条件を求めて進出地を決めると思うが、市の工業団地のセールスポイントは何か。
- ・さらに企業誘致を進めるために、産業環境部の中に専門の課を設けられないか。
- ・市内あるいは県内には素晴らしい企業が多くある。高校生や大学生向けに「坂井市の生活はこんなに違う」という名目で、坂井市で生活した場合の、地価・平均支出額・通勤時間・子育ての安心感などの数値を東京圏と比較して、その良さをPRできないか。

## 9 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団）

- (1) いつでもそば打ち体験のできるそば道場を整備すべき
  - ・丸岡において、そば打ち体験ができる場所について、その状況をどう把握しているか。
  - ・そば打ち体験がいつでもできるそば道場を整備すべき。
- (2) 高校卒業までの医療費無料化を求める
  - ・現在、子どもの医療費助成は、国が3才まで、県は9才までとなっており、あとは自治体負担で賄っている。国や県に医療費助成拡充を要求し、市の医療費無料化を高校卒業までに拡充すること。
  - ・現在、中学3年生において、小児慢性特定疾病の対象者は何人いるのか。また、小児慢性特定疾病と同じ症状で同じ治療を受けている子の把握をしているのか。
  - ・小児慢性特定疾病と同じ症状で同じ治療を受けている子への市独自の助成制度が必要である。
- (3) 幼児教育・保育無償化における給食費実費負担について
  - ・今まで、副食費は公定価格（保育に必要な費用）に含まれていたのは、なぜだと考えるか。
  - ・給食費の減免・補助を今後検討する余地があると考え。いかがか。
  - ・私立保育所が食費を施設で徴収するための負担増に対する対策を求める。

## 10 上坂 健司 議員（政和会）

- (1) 若者政策について
  - ・本市の若者の選挙投票率の現状はどうか。また、若者の政治や選挙に対する意識を高める有効手段はどうか。
  - ・本市の各種審議会等の委員において、市民公募における若者（年代別）の選定状況はどうか。
  - ・第二次総合計画策定において市内全域に市民満足度調査を実施したが、次の時代を担う10歳代～30歳代のまちづくりに関する若者の意見や発想はどのように捉えているのか。
  - ・過去の一般質問からの進捗となるが、若者の雇用対策や起業支援について、その後の展開と成果はどうか。
  - ・本市には三国、丸岡、春江、坂井と4つのまちに、伝統と文化を大切に受け継いできた祭りがある。祭りは若者の地域への愛着や誇りを醸成する力がある。そして地域コミュニティを形成するとともにまち全体を元気にしてくれる。一方、高齢化や人口減少が進み、親戚や知人のつてを頼って人を集めないと祭りが成り立たなくなっているものや、祭りによっては存続の危機にさらされているものもある。そこで、お祭り条例を制定してはいかがか。
  - ・地方創生を推し進める中で、若者が楽しめる、若者を呼び込む政策として、坂井町東長田にある通称「牛の交差点」にある県所有の土地の有効活用はどうか。

## 1 1 前川 徹 議員（政和会）

### （1）福井国体から1年、坂井市のスポーツの振興について

- ・国体において整備された体育施設の利用状況と、今後の全国大会などの新しい誘致計画は。
- ・体育施設マネジメント計画策定の進捗状況および計画策定における重点目標は。
- ・市内の小学生の児童数に対するスポーツ少年団の加入率が年々減少している。その原因は何か。また対策はあるのか。
- ・スポーツ少年団の団数が最も多い野球の活動拠点として、坂井グラウンドをソフトボール兼用の少年野球専用グラウンドとして整備したらどうか。
- ・寄附による市民参画制度やスポーツ振興助成事業を活用して、三国運動公園野球場のダッグアウトやスタンドなどの改修をしたらどうか。また、バッティングゲージを備えて、高校や大学の合宿を誘致したらどうか。
- ・全国学校体育研究大会福井大会のプレ大会が今年度に、令和2年度には本大会が開催されるが、坂井市としてこの大会にどのように関わっているのか。また、市内の学校体育の研究をどのように進めているのか。

## 1 2 三宅 小百合 議員（政友会）

### （1）6次産業化について

- ・6次産業化の支援はどのようなものがあるか。
- ・6次産業化した商品でヒット商品はあるか。
- ・テストキッチンの設置について。

### （2）公共施設を活用した合宿誘致について

- ・本市での学生等の合宿の状況は。
- ・合宿誘致についてどのような取り組みをしているか。
- ・今後の合宿誘致について。
- ・合宿参加者へのシティプロモーションやおもてなしはあるか。

## 1 3 佐藤 寛治 議員（政和会）

### （1）地域公共交通対策について

- ・地域公共交通マスタープラン策定の考えはどうか。
- ・市域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成をどのように考えているか。
- ・4つの市街地を拠点としたコンパクトなまちづくりの実現に向けた公共交通をどのように考えているか。
- ・地域の特性に応じた多様な交通サービスの組み合わせの考えは。
- ・公共交通のアクセシビリティをどのように考えているか。
- ・高齢者に対し、交通事業者と連携した乗車券助成制度の考えは。
- ・JR在来線の第三セクター運営に係る市負担分は年間どれぐらい必要か。

#### 14 田中 千賀子 議員（政和会）

##### (1) 男女共同参画・女性活躍推進について

- ・男女共同参画推進の講座および啓発について。（意識づくりの啓発の取り組み）
- ・男女共同参画に関する情報の収集および提供について。
- ・男女共同参画社会の実現を目指す市民活動の支援および交流の場の提供について。
- ・男女共同参画を推進する人材育成について。
- ・相談窓口（生活相談・DV）について。
- ・平成23年5月にソフィアでは、審議会・各委員会委員は一人一役という市長に提言書を提出している。その後の進捗状況について。
- ・国では男女共同参画の実現に向け、社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう目標を達成するため、ポジティブ・アクションを推進しているが、市の考えは。

##### (2) 保育園、幼保園の給食について

- ・29年・30年度の給食で使用された市内農産物、水産物について。
- ・給食に市内産物を使用することの課題について。
- ・食育の推進をどのように考えているか。
- ・農・水産課との連携について。

#### 15 永井 純一 議員（公明党）

##### (1) えちぜん鉄道延伸について

- ・東尋坊駅をつくり、三国港駅とを結び延伸できないか。
- ・整備計画されたとしても多少時間がかかるだろうが、その間、東南アジア諸国で走っていて、近年、日本でも注目を浴び始めているオート三輪車タクシー「トゥクトゥク」のようなものを、三国港駅から東尋坊方面に走らせたらいかかがか。見解を伺う。

##### (2) 教育について

- ・これからの学校教育の在り方や、求められていることへの教育長の所感を伺う。
- ・命の大切さや思いやりの大切さの授業など工夫してやっていただいているが、平和教育が大きな役割を担っていると思う。以前にも話したが、具体的提案で修学旅行の行き先を東京もよいが、広島、長崎、沖縄で深く考えるような機会をつくってもらいたいと思うがいかかがか。
- ・性的マイノリティのことで学校、教育委員会で実態を把握されていることはあるのか。一つの提案だが、各学校施設において多目的トイレや男女共用トイレを整備してほしいと思うがいかかがか。
- ・2020年東京オリンピック、パラリンピックが開催される。地元国開催は一生に一度あるかないかである。坂井市における合宿誘致はどのようなになっているのか。また、子どもたちが個人的には観戦される方もいるかもわからないが、坂井市のできるだけ多くの小中学生が接することができたらと思うが、良い考えはないか。

## 16 松本 朗 議員（日本共産党議員団）

### (1) 幼児教育無償化によって、坂井市として行うべき対策

- ・ 幼児の給食は、保育の一環であり、食育の観点からも切り離すことはできない。給食費も無償化とするよう政府に求めるとともに、当面、市として無償にすべき。
- ・ 特に認可私立保育所では、これまで保育料の徴収は口座引き落としで、市として一括して扱ってきた。給食費を実費徴収することになり、保育所ごとに集めることになり、負担が増える。特に、滞納者に対する対応など大きな負担になる。私立保育所の給食費徴収に対して、市としての支援が求められる。「給食費は私債権だから」というだけで片付けていいのか。
- ・ 保育所によっては、3歳以上児も主食を提供しているところもある。この際、保育の給食は、主食を含め提供することを原則としたらいかがか。公立保育所は、直ちに実施することが求められる。
- ・ 公立保育所も含め、滞納者への対策として、政府は、児童手当からの徴収を認めるかのような通達を発したらしいが、こうした対応は取るべきでない。いかがか。

### (2) 春江駅改築に対する基本方針

- ・ 駅舎改築に伴い、ユニバーサルデザインの考え方を適用することは当然であると考えられるがいかがか。
- ・ 春江東部地区では、10月に駅舎を含む、駅周辺整備、磯部川、県道、市道の整備状況などについて、市、県から出席してもらい、住民に報告する場を区長会として持つことにしている。駅舎の改築、駅周辺整備などについて、住民の要求を聞く場を今後とも持つことが重要であると思うがいかがか。

## 17 川端 精治 議員（志政会）

### (1) ワークライフバランスからみる男性の育児休業制度について

- ・ 坂井市男性職員の育児休暇取得向上に向けた具体的な取り組みと現状分析を伺う。
- ・ 官民合同でイクボス宣言を行っている坂井市として、市内企業に対し男性の育児休暇取得を推進しているか。
- ・ イクボス宣言を行った坂井市がリーダーシップとなり市内企業に男性育児休暇取得を推進すべきと考えるが所見は。
- ・ 坂井市は自治体子育てランキング全国で10位であることから、男性育児休暇取得率向上は、さらなる子育て支援策、まちづくり戦略につながると考える。所見を伺う。